

インフォコム株式会社

# 2013年3月期 決算説明会

2013年4月26日

インフォコムグループは、ICTの**進化**を通じて、

社会のイノベーションに貢献します。

**United Innovation**  
**infocomgroup**

- 1 2013年3月期 決算**
  - 2 2014年3月期 業績予想**
  - 3 来期(2014年3月期)の取り組み**
- 参考資料**

# 1 2013年3月期 決算

# 2013年3月期 決算ハイライト（連結）

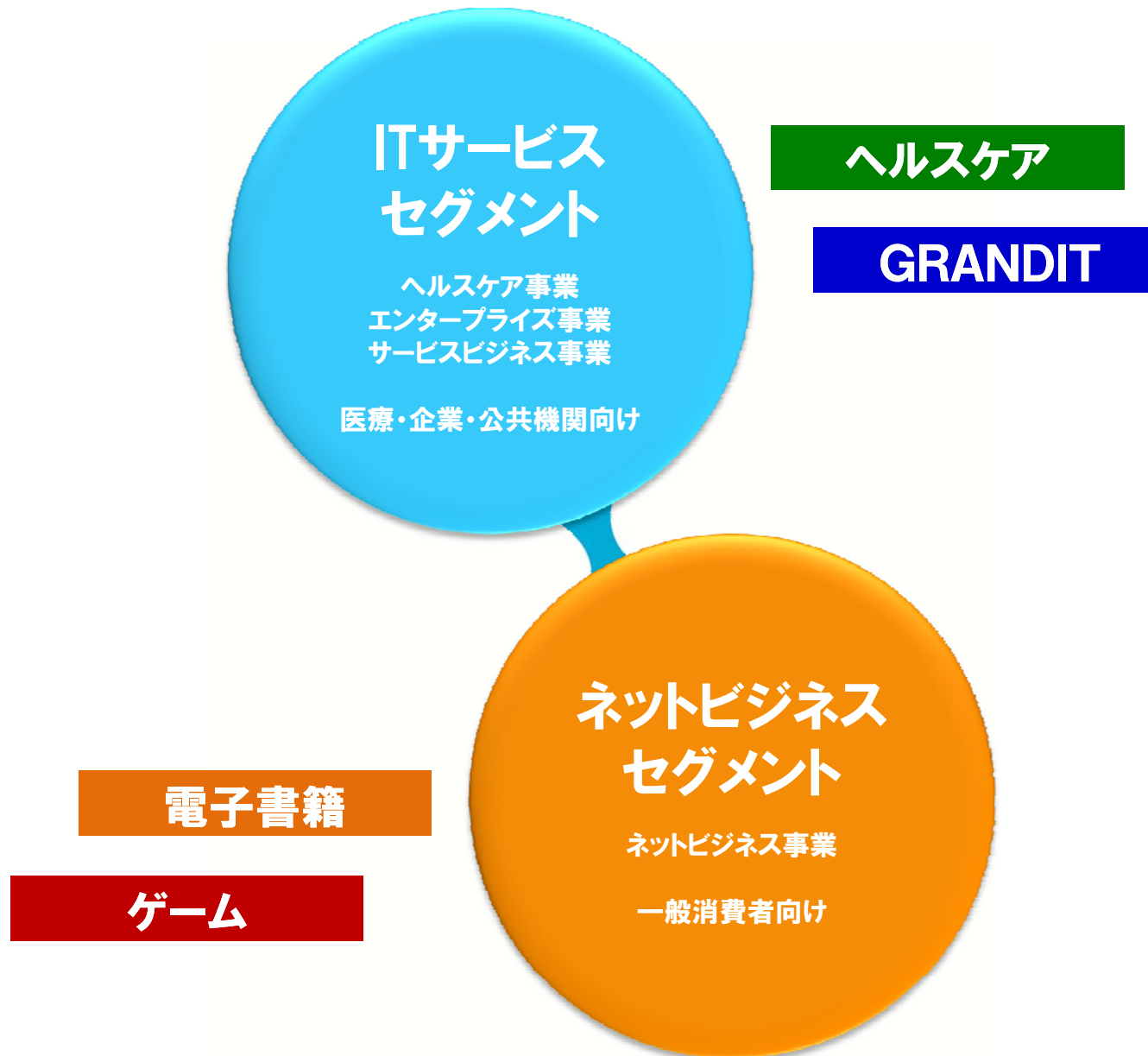
## ■ 増収・増益

- 5期連続増益
- 2期連続で、過去最高売上高・利益を更新

（単位：億円、％）

	2012年3月期	2013年3月期	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	364.9	373.8	+8.9	+2.4
営業利益	34.0	35.0	+1.0	+2.9
（営業利益率）	(9.3)	(9.4)		
経常利益	33.9	34.8	+0.9	+2.9
当期純利益	18.5	20.8	+2.3	+12.3
1株あたり 当期純利益（円）	12,957	14,902	+1,945	+15.0
ROE	11.8	12.2	+0.4	

# セグメント構成と重点3事業



## セグメント別売上高（連結）

- **ITサービス** :ヘルスケアの好調維持や一部企業向けのSI案件増により、増収
- **ネットビジネス** :eコマースと音楽配信サービスが減収となったが、電子書籍が好調で、増収

（単位：億円、％）

	2012年 3月期	2013年3月期		前年同期比	
	金額	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	364.9	373.8	100.0	+8.9	+2.4
ITサービス	244.9	249.3	66.7	+4.4	+1.8
ネットビジネス	120.0	124.4	33.3	+4.4	+3.7

## セグメント別営業利益（連結）

■ ITサービス : 不採算事業の譲渡など、事業構造改革の推進による収益改善により、増益

■ ネットビジネス : eコマースと音楽配信サービスの減収、電子書籍の成長に向けた先行投資(広告等も含む)により、減益

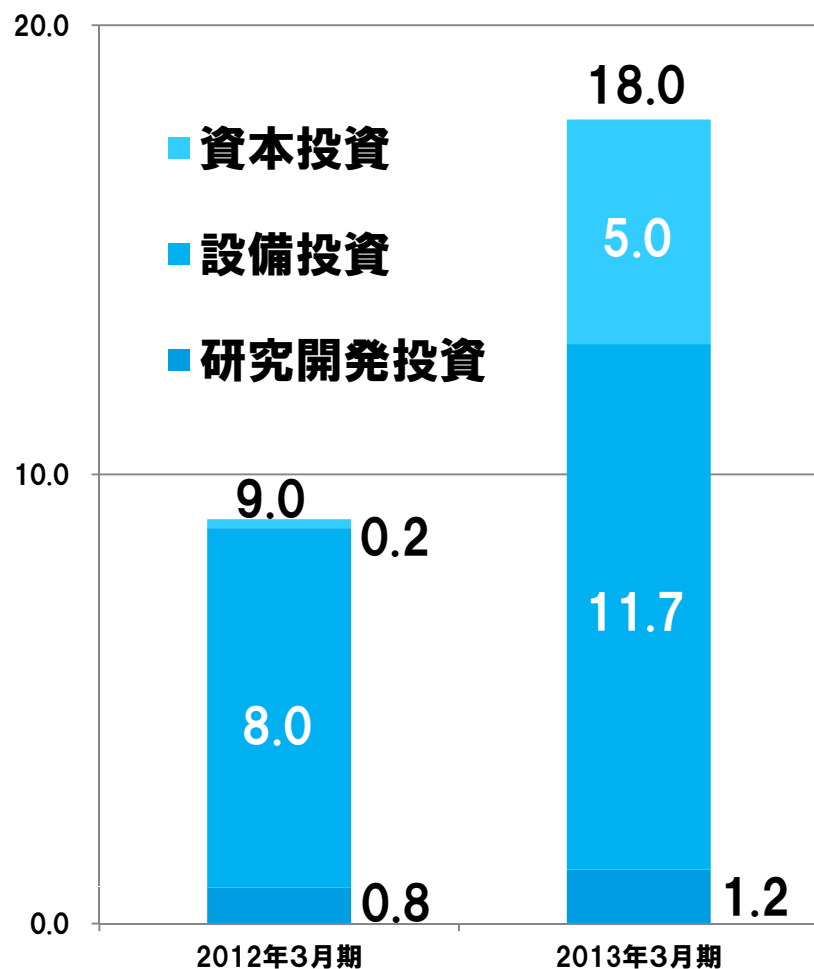
(単位:億円、%)

	2012年 3月期	2013年3月期		前年同期比	
	金額	金額	構成比	増減額	増減率
営業利益 (営業利益率)	34.0 (9.3)	35.0 (9.4)	100.0	+1.0	+2.9
ITサービス	23.2 (9.5)	28.7 (11.6)	82.0	+5.4	+23.6
ネットビジネス	10.8 (9.0)	6.1 (5.0)	17.4	△4.7	△43.6

# 投資実績

## 成長加速に向けて、積極的な投資を実施

(億円)



主な内容		(億円)
資本投資	ゲーム会社買収 他	5.0
設備投資	ソーシャルゲーム開発	11.7
	ネットビジネス情報配信インフラ強化等	
	ヘルスケア手術システム開発	
	ヘルスケア放射線システム機能強化	
	ヘルスケア医療画像伝送システム	
	GRANDIT開発 他	
研究開発投資	モバイルデバイス用サービス基盤開発	1.2
	その他	



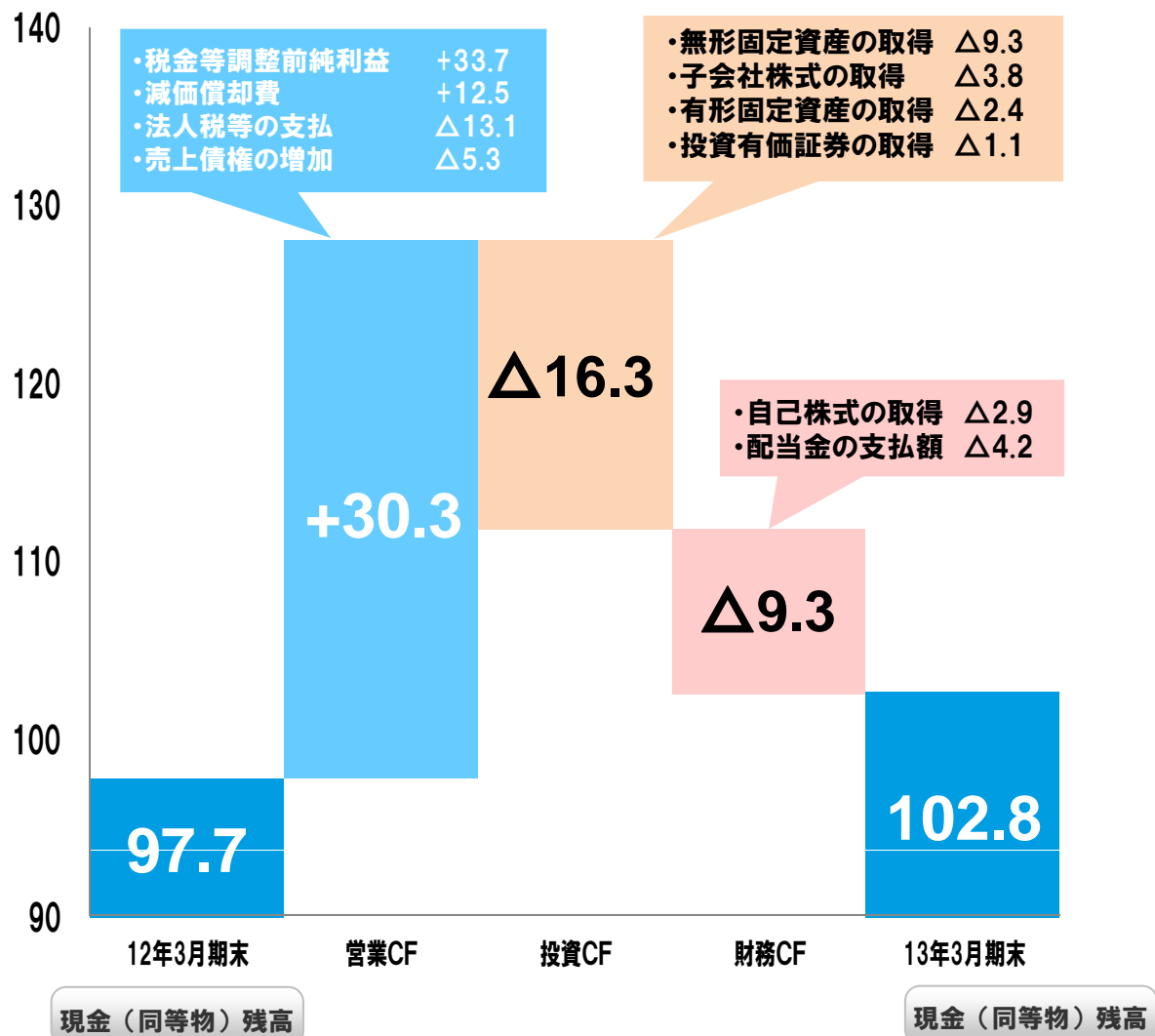
# 貸借対照表（連結）

（単位：億円、％）

	2012年3月期末		2013年3月期末			主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	
流動資産	181.8	73.8	194.3	74.1	+12.5	・現金及び預金+5.1 ・受取手形及び売掛金+6.0
固定資産	64.5	26.2	67.7	25.9	+3.2	・のれん+3.5
資産合計	246.4	100.0	262.1	100.0	+15.7	
流動負債	76.2	30.9	79.7	30.4	+3.5	・買掛金+5.1 ・未払金△3.2 ・未払法人税+0.7
固定負債	5.6	2.3	3.6	1.4	△2.0	・リース債務△1.2 ・役員退職慰労金△1.0
負債合計	81.9	33.2	83.4	31.8	+1.5	
純資産合計	164.5	66.8	178.7	68.2	+14.2	・利益剰余金+16.5 ・自己株式△2.8
負債・純資産合計	246.4	100.0	262.1	100.0	+15.7	
自己資本比率	66.1%		67.6%			

# キャッシュ・フロー（連結）

（億円）



（億円）

	2012/3期	2013/3期	増減
営業キャッシュ・フロー	39.7	30.3	△9.4
投資キャッシュ・フロー	△7.2	△16.3	△9.1
フリーキャッシュ・フロー	32.5	14.0	△18.5
財務キャッシュ・フロー	△6.8	△9.3	△2.5
現金及び現金同等物に係わる換算差額等	△0.0	0.6	+0.6
現金及び現金同等物の増減額	25.6	5.1	△20.5
現金及び現金同等物の期首残高	72.1	97.7	+25.6
現金及び現金同等物の期末残高	97.7	102.8	+5.1

# 株主還元

		2012年3月期	2013年3月期
自己株式 の取得	取得株式数(株)	3,000	3,000
	取得総額(百万円)	275	288

取得期間 2012年8月10日～10月30日、11月7日～11月9日

			2012年3月期	2013年3月期
配当予想	1株当たり 配当金(円)	普通配当	3,000	3,000
		記念配当*	-	300
		(計)	3,000	3,300

\*会社設立30周年記念配当

配当性向	配当/純利益	23.2%	22.1%
総還元性向	(自社株買い+配当)/純利益	38.0%	36.0%

# 主要経営指標

	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期
売上高成長率(%)	△3.6	14.1	△4.9	1.3	5.5	2.4
営業利益率(%)	1.4	4.8	7.0	8.8	9.3	9.4
一人当たり売上高(百万円)	26	30	29	29	30	30
一人当たり営業利益(百万円)	0.3	1	2	2	2	2
株主資本当期純利益率(ROE)(%)	1.8	4.0	9.3	12.0	11.8	12.2
1株あたり当期純利益(円)(※2)	1,588	3,430	8,431	11,966	12,957	14,902
1株あたり年間配当金(円)(※1)	1,600	1,600	2,000	2,000	3,000	3,300
配当性向(%)	100.7	46.6	23.7	16.7	23.2	22.1

※1 2013年3月期の1株あたり年間配当金は、2013年6月13日開催予定の第31回定時株主総会に付議予定の金額です。

※2 2013年3月期の1株あたり当期純利益は、期中平均株式数(139,583株)で除したものです。

## 2 2014年3月期 業績予想

# 2014年3月期 業績予想（連結）

事業構造改革と成長に向けた投資を継続しつつ、4期連続の増収・増益を目指す

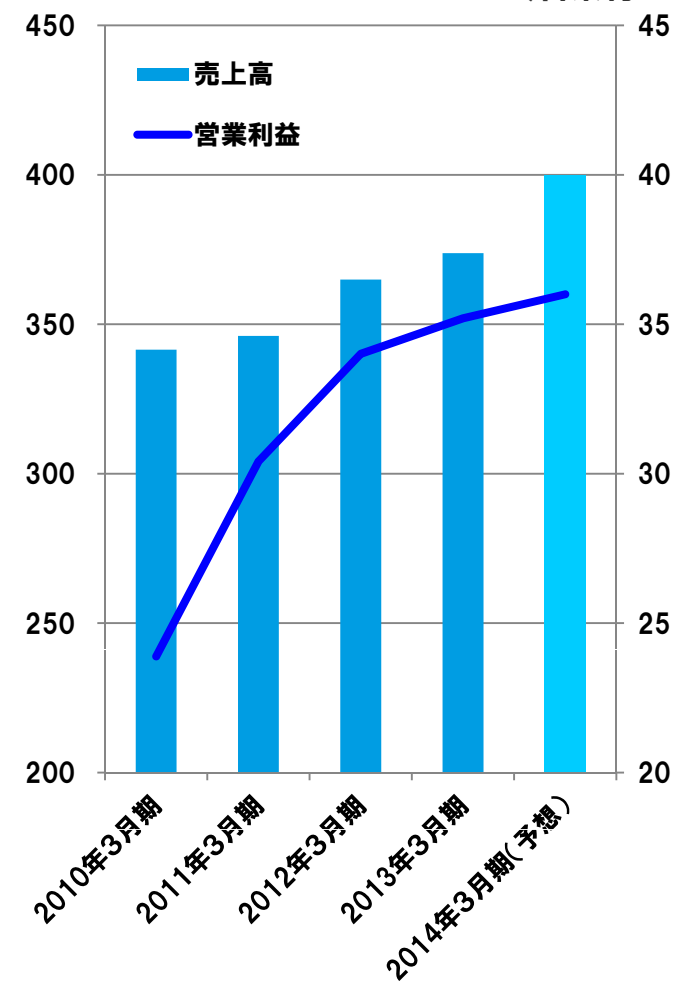
（単位：億円、％）

	2013年3月期 実績	2014年3月期 予想		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	373.8	400.0	+26.2	+7.0
営業利益	35.0	36.0	+1.0	+2.8
経常利益	34.8	36.0	+1.2	+3.2
当期純利益	20.8	22.0	+1.2	+5.8
1株あたり 当期純利益	14,902	15,920	+1,018	+6.8
R O E	12.2	11.8		

## 連結売上高・営業利益の推移

（売上高：億円）

（営業利益：億円）



## セグメント別売上高予想（連結）

- ITサービス :ヘルスケアとGRANDITの拡大を中心に、増収
- ネットビジネス :電子書籍とゲームの更なる成長を中心に、増収

（単位：億円、％）

	2013年3月期 実績	2014年3月期 予想		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	373.8	400.0	+26.2	+7.0
ITサービス	249.3	265.0	+15.7	+6.3
ネットビジネス	124.4	135.0	+10.6	+8.5

## セグメント別営業利益予想（連結）

- ITサービス :ヘルスケアを中心とする規模拡大に伴う利益増は見込むが、成長に向けた先行投資増により、微増益
- ネットビジネス :電子書籍やゲームの成長による利益増は見込むが、成長に向けた先行投資増により、微増益

（単位：億円）

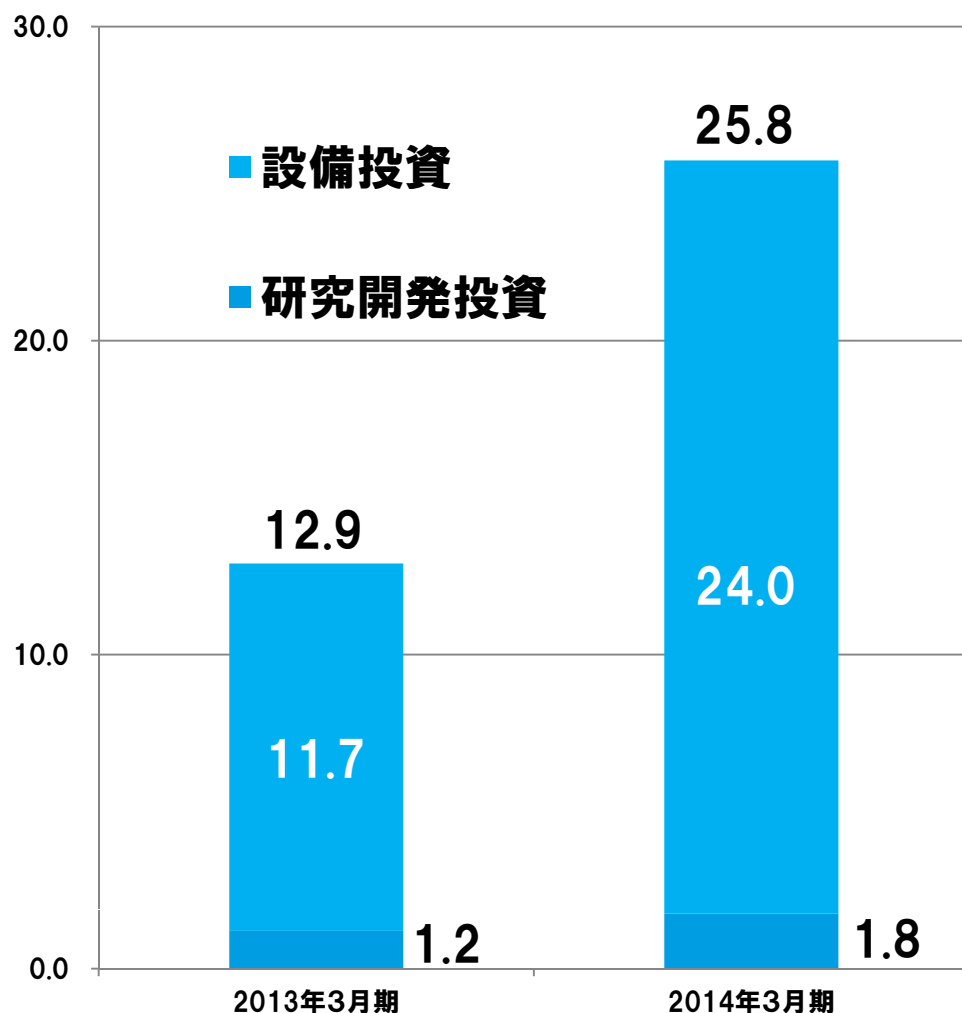
	2013年3月期 実績	2014年3月期 予想		
	通期	通期	増減額	増減率
営業利益 (営業利益率)	35.0 (9.4)	36.0 (9.0)	+1.0	+2.9
ITサービス	28.7 (11.6)	29.0 (10.9)	+0.3	+1.0
ネットビジネス	6.1 (5.0)	7.0 (5.2)	+0.9	+14.8



# 投資計画

## 来期も、成長に向けた積極的な先行投資を継続

(億円)

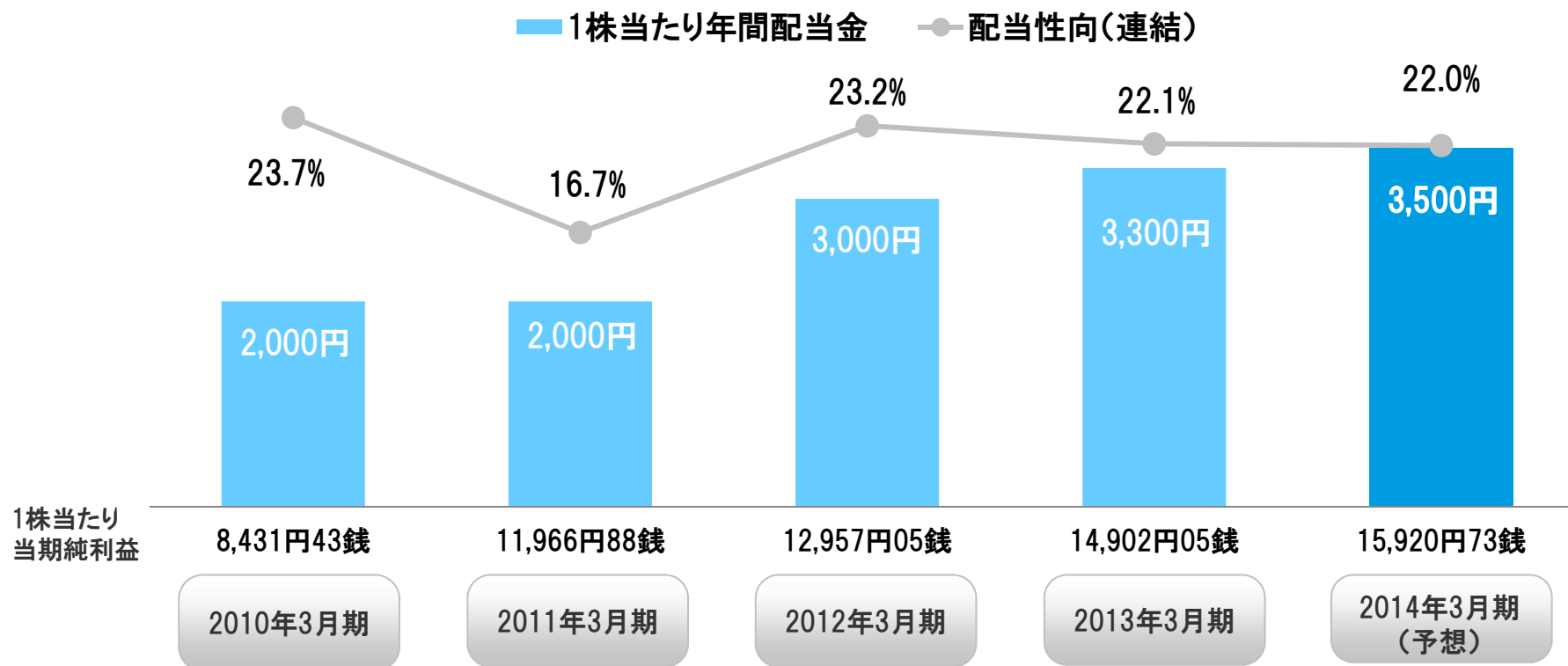


主な内容		(億円)
設備投資	電子書籍サービス強化	24.0
	新ゲーム開発	
	放射線情報システム機能強化	
	病院向け新サービス開発	
	GRANDIT新機能開発	
研究開発投資	データセンターサービス基盤強化 他	1.8
	新技術開発(全社研究)	
	その他	

注 グラフ・表には資本投資分は含まず

# 株主還元

**■ 配当** : 2014年3月期は200円の増配を予定（普通配当としては+500円）



**■ 自己株式の取得** : 今期同様、必要に応じて機動的に実施予定

## ③ 来期(2014年3月期)の取り組み

# 基本方針

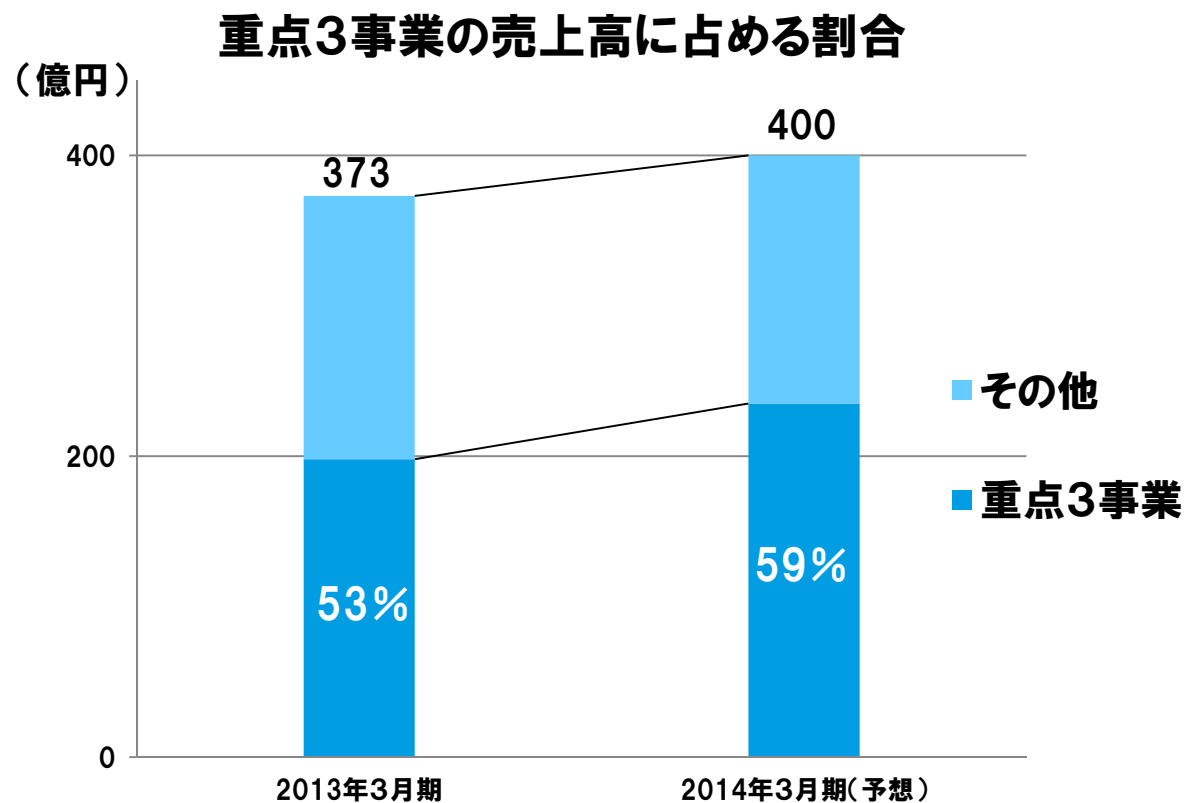
## 基本方針

### -重点3事業の成長加速に注力

ネットビジネス

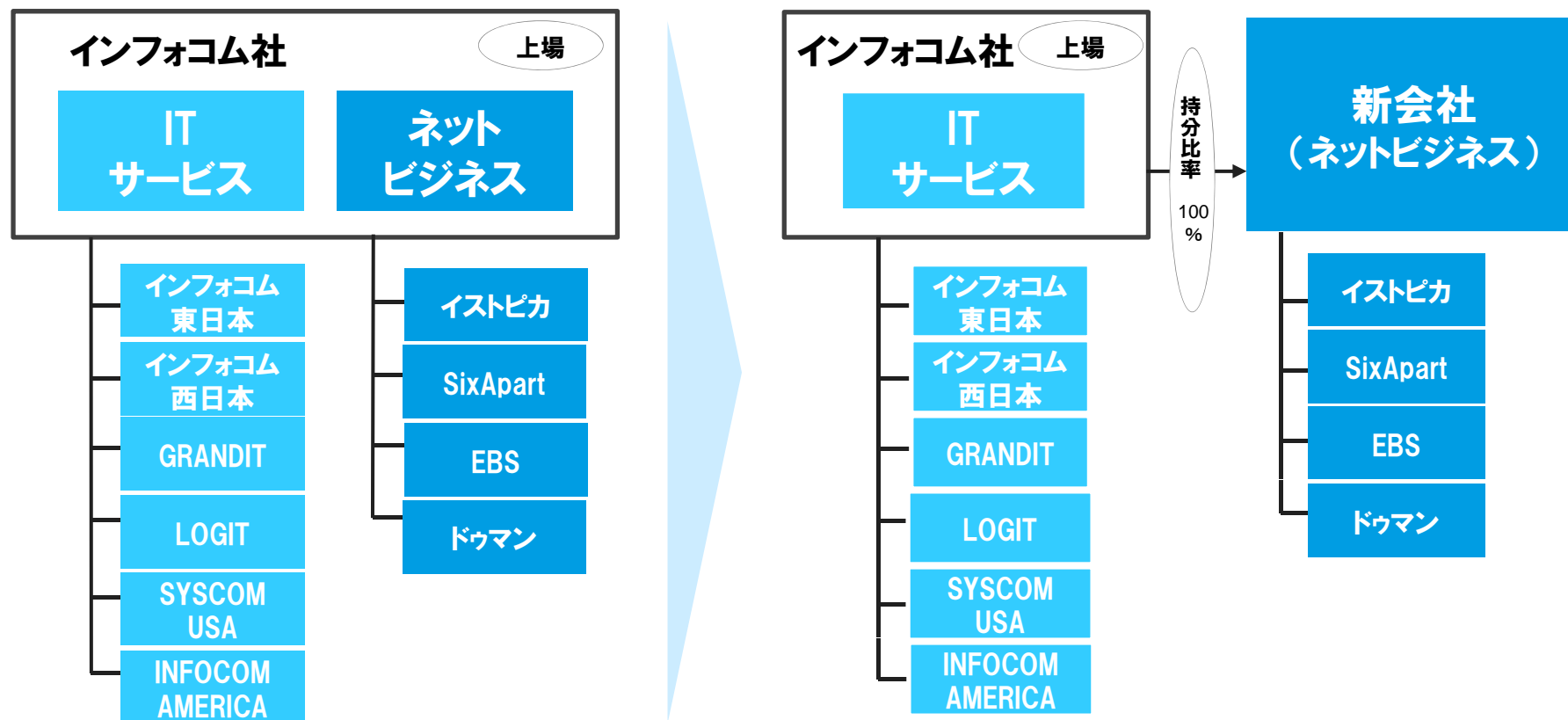
ヘルスケア

GRANDIT



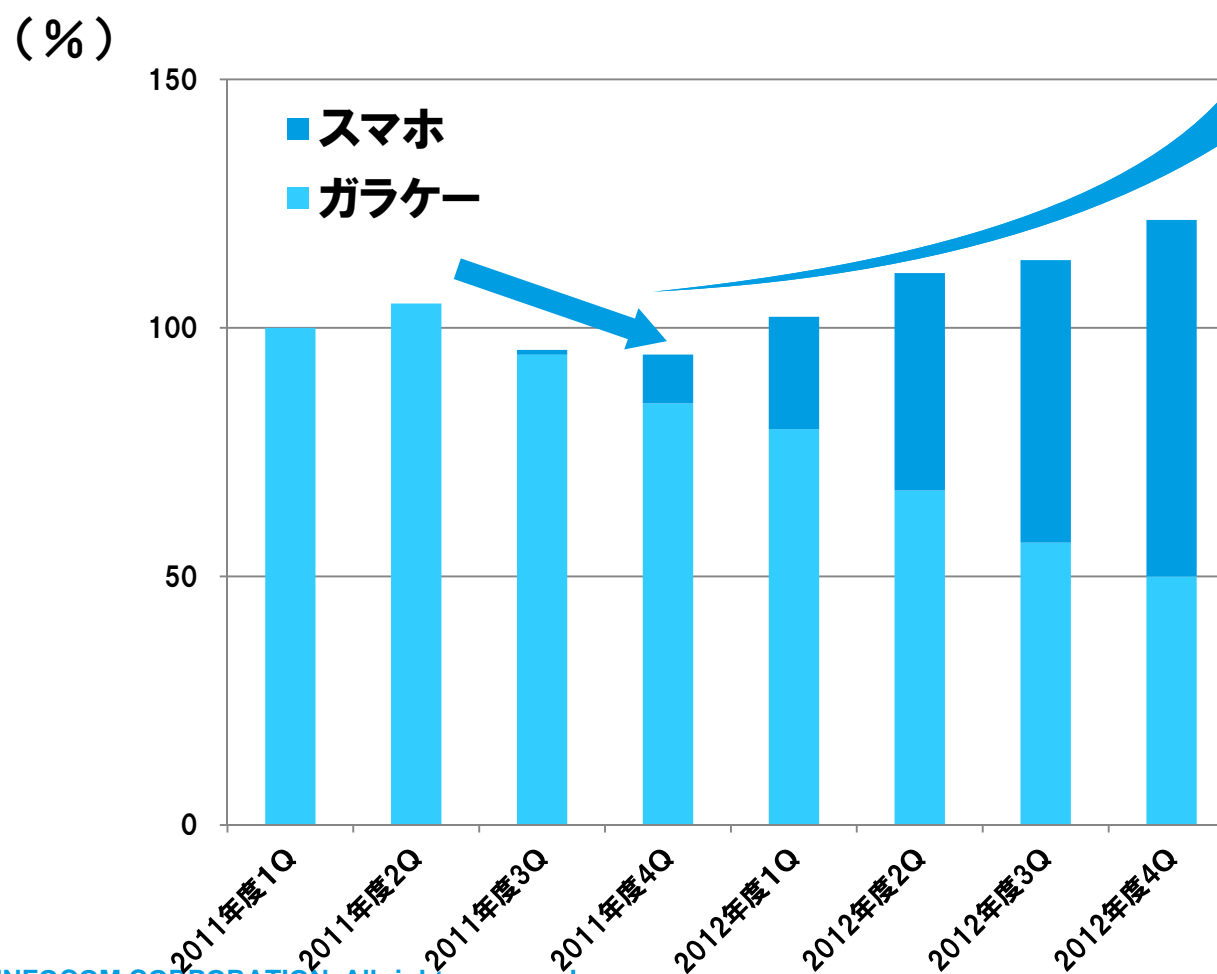
## 分社化の目的

1. 機動的・積極的なM&Aによる事業規模の拡大
2. 権限移譲による事業推進力強化と意思決定のスピードUP



■ガラケーからスマホへ順調に移行、再び成長トレンドに！

= 2011年度の1Q売上高を100とした場合の、四半期売上高の推移 =



市場規模

シナリオ② スマホ・タブレット市場での拡大

キャリアが創出した市場  
(公式サイト=垂直統合型)

2011年  
ガラケー市場  
約572億円

2015年  
310~360億円

シナリオ① ケータイ市場で  
勝っておく!

Apple/Googleが主導した  
市場

2011年  
新プラットフォーム市場  
74億円

2015年  
新プラットフォーム市場  
1,000~1,600億円

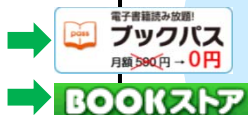
パピレス  
eBookJapan

PC市場  
53億円

凸版印刷・インテル(BookLive)  
大日本・NTTドコモ(honto)



朝日新聞・KDDI・ソニー・凸版印刷(bookList)



-電子書籍ビジネス調査報告書2011 (株)インプレスR&D/インターネットメディア総合研究所より一部引用  
-2013ブロードバンド・モバイルサービス総調査 (株)キメラ総研 より一部引用

## ■ 作品ラインナップの拡大

今まで

-読者層が限られた嗜好性の強い作品中心

来期

-大手出版社との協業を強化し、  
「一般系コミック」の品揃えを拡充中

スマホでの更なる売上成長を狙う

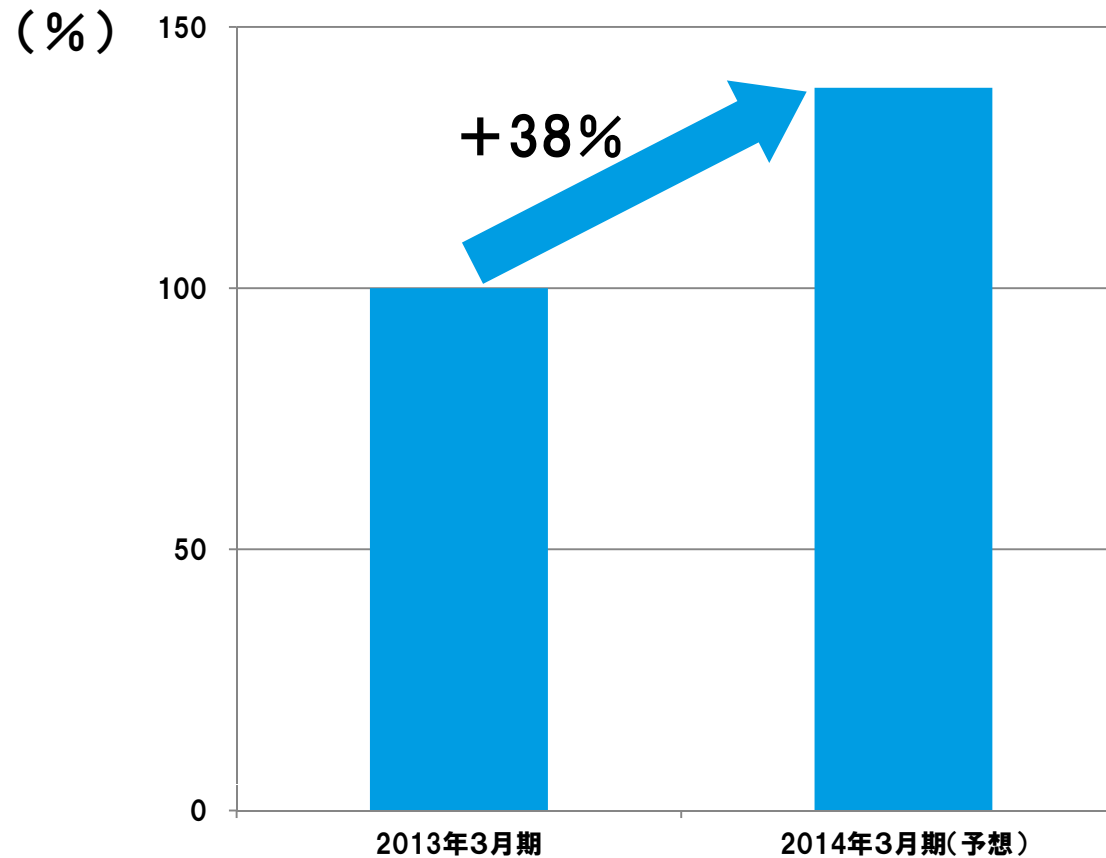
その他

...



## ■ヘルスケア事業も順調に拡大見通し

= 2013年3月期の売上高を100とした場合の、売上高伸長率 =



電子カルテ・医事会計の補完領域 及び院内部門システム中心に展開

診療	電子カルテ	電子カルテ補助	黒字:既存展開領域	
	眼科カルテ 歯科カルテ	医療文書作成システム 診断書作成システム 看護支援システム		
コ メ デ ィ カ ル  院 内 各 部 門	薬剤部門	調剤支援システム 医薬品情報システム 薬品在庫管理システム 服薬指導システム 処方チェックシステム		
	検査部門	臨床検査システム 細菌検査システム 病理検査システム 生理検査システム 内視鏡システム		
	放射線部門	医用画像システム(PACS) 放射線システム(RIS) 読影所見システム(REPORT) 放射線治療システム		
	看護部門	看護勤務管理システム 看護師教育システム ナースコールシステム 感染症管理システム		
	診療情報管理	退院サマリシステム 病歴システム がん登録システム	リハビリ部門	リハビリシステム
	地域連携部門	紹介患者管理システム 病診連携システム 医療相談システム	透析部門	透析システム
	手術部門	術中記録システム 手術画像システム	健診部門	健診システム
	栄養部門	給食管理システム 栄養指導システム		
	管 理 ・ 事 務	医事会計システム		
		事務部門	DPCシステム レセプトチェックシステム 未収金管理システム 受付システム	物流部門
管理部門		経営分析システム 人事給与システム 職員勤務管理システム 財務会計システム	物品管理システム	
その他	グループウェア DWH			

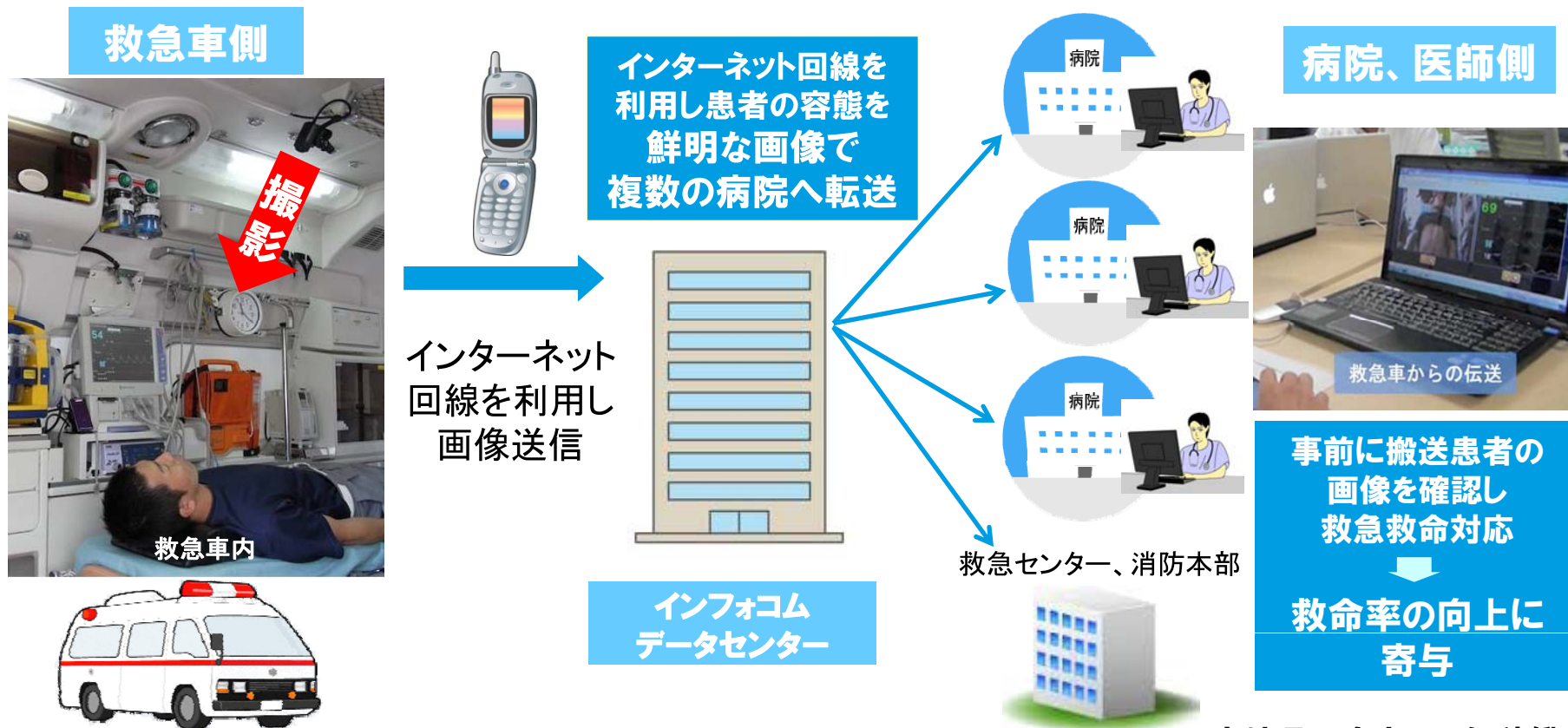
放射線部門向けと手術部門向けの規模拡大、看護部門向け拡充

診療	電子カルテ	電子カルテ補助	黒字:既存展開領域	
	眼科カルテ 歯科カルテ	医療文書作成システム 診断書作成システム 看護支援システム		
コ メ デ ィ カ ル	薬剤部門	調剤支援システム 医薬品情報システム 薬品在庫管理システム 服薬指導システム 処方チェックシステム		
	検査部門	臨床検査システム 細菌検査システム 病理検査システム 生理検査システム 内視鏡システム		
	放射線部門	医用画像システム(PACS)	放射線システム(RIS) 読影所見システム(REPORT) 放射線治療システム	
	看護部門	看護勤務管理システム 看護師教育システム ナースコールシステム 感染症管理システム		
	診療情報管理	退院サマリシステム 病歴システム がん登録システム	リハビリ部門 リハビリシステム	
	地域連携部門	紹介患者管理システム 病診連携システム 医療相談システム	透析部門 透析システム	
	院内各部門	手術部門 術中記録システム 手術画像システム	健診部門 健診システム	
		栄養部門	給食管理システム 栄養指導システム	
管 理 ・ 事 務	医事会計システム			
	事務部門	DPCシステム レセプトチェックシステム 未収金管理システム 受付システム	物流部門	
	管理部門	経営分析システム 人事給与システム 職員勤務管理システム 財務会計システム	物品管理システム	
その他	グループウェア	DWH		

# 「救急車車内映像伝送システム」事業の業容拡大の推進

引合い状況  
(2013年3月末)

-2012年12月の販売開始後4カ月で、件数 約30件

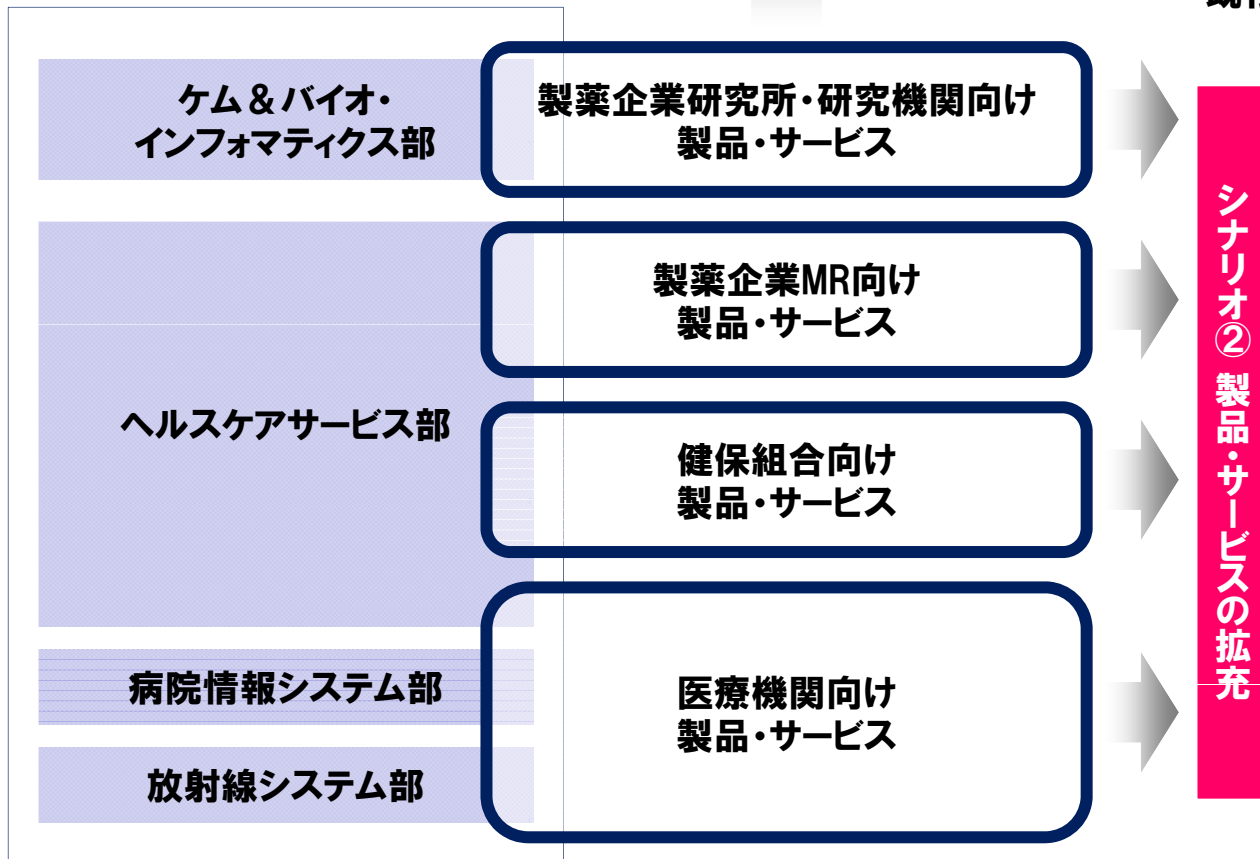


シナリオ① 更なる周辺分野への展開

- ・ 医療分野での経験・ノウハウを活用し新たな市場開拓を継続
- ・ 新製品・サービス拡充により、既存事業を拡大

ヘルスケア事業本部

ヘルスケア領域事業を集約

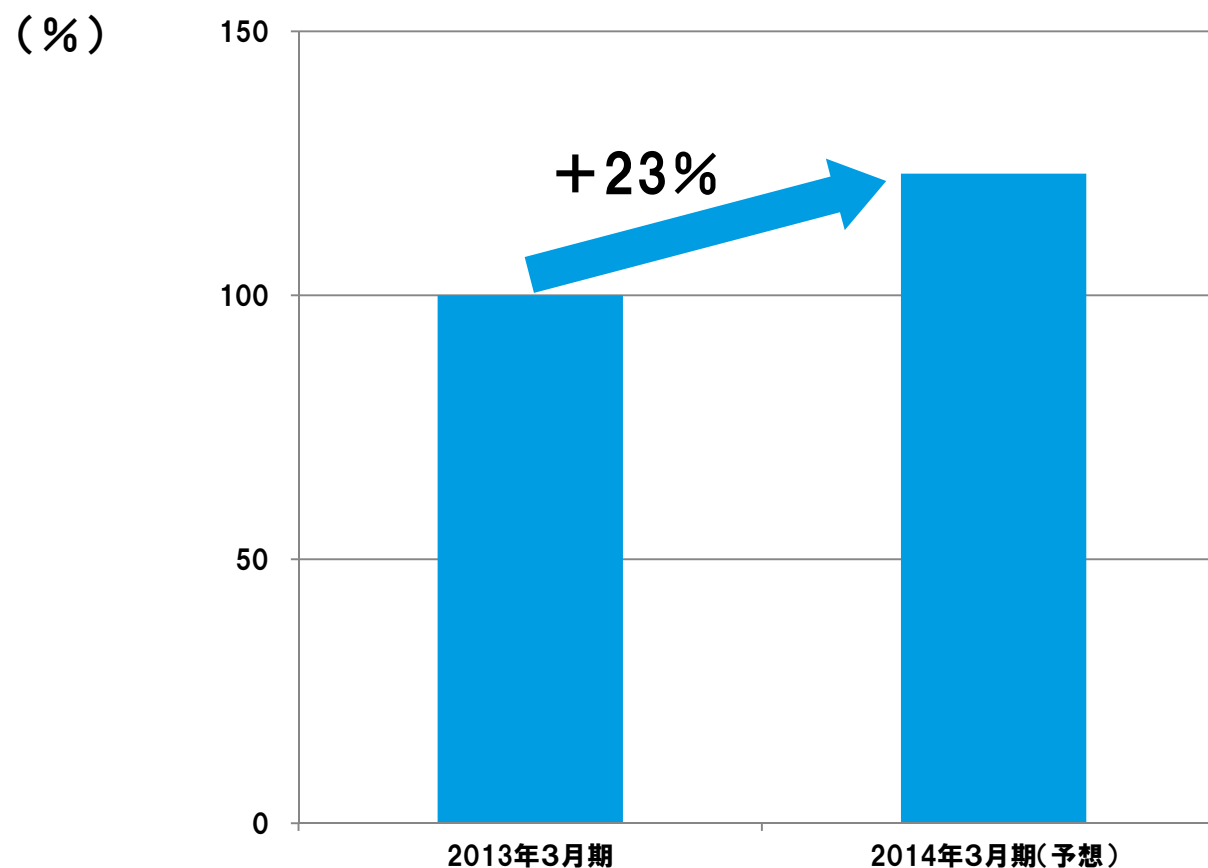


**事業パートナーとのアライアンスを強化する主要分野**

- ・ 周辺分野（調剤薬局向け、介護向け等）
- ・ 健保・製薬企業向け 製品・サービス
- ・ 医療機関向け製品・サービス

## ■ 着実な業容拡大を見込む

= 2013年3月期の売上高を100とした場合の、売上高伸長率 =



今 期

-最新バージョン「GRANDIT2」の販売を開始

- ・多言語/多通貨、現地製販モデル、グループ会社導入対応
- ・スマートデバイス対応

来 期

-グループ会社向け導入の強化

-消費税変更対応

## GRANDITライセンスの引合い額(プロスペクト)

= 2012年3月末残高を100とした場合の増加割合 =



# IR担当窓口

本資料は、当社の会社説明・業績説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料で取り扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については億円単位の数値で算出しています。本資料は一部を除き2013年3月31日現在のデータに基づいて作成しております。本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標又は登録商標です。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。

問い合わせ先

## インフォコム株式会社

広報・IR室長 松尾 宏治

TEL:03-6866-3160





# ***United Innovation*** **infocomgroup**

**インフォコムグループは、  
ICTの進化を通じて  
社会のイノベーションに貢献します。**